

# 愛媛日独協会 公開講演会

2014年7月19日(土) 午後3時より

愛媛大学法文学部 本館2階 中会議室 (松山市文京町3番)

聴講無料

会員外の出席歓迎

● 内子町職員 国際交流協会担当 久保 理恵子 氏

『内子町とローテンブルク市における交流の軌跡』

2011年9月2日、内子町はドイツ・ローテンブルク市と姉妹都市盟約を結びました。ローテンブルク市との交流が始まって20年。この間、町職員や青年の派遣、青少年海外派遣事業等様々な交流を行い、町民レベルで両者の絆は益々深まっています。交流の詳細、またこれらの企画・運営に深く関わる公益財団法人内子町国際交流協会についてお話しします。

● 松山大学法学部 准教授 山尾 涼 氏

『《歪んだ》身体へと至るカフカのスケッチとテキストのシーケンス』

「かつては優れた素描家だった」と自らを称したとおり、カフカはそのテキストと同様、謎めきつつも意味深いスケッチを残しています。初期に描かれたいくつかのスケッチと、それと同時代に執筆された「ある戦いの記録」を取り上げ、その共通性から読み取る、カフカの身体観および人間観について考察します。

★ 問い合わせ先 790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学法文学部人文学科 野上さなみ研究室内  
愛媛日独協会事務局 ☎089-927-9355

